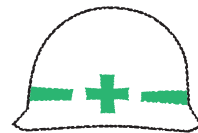


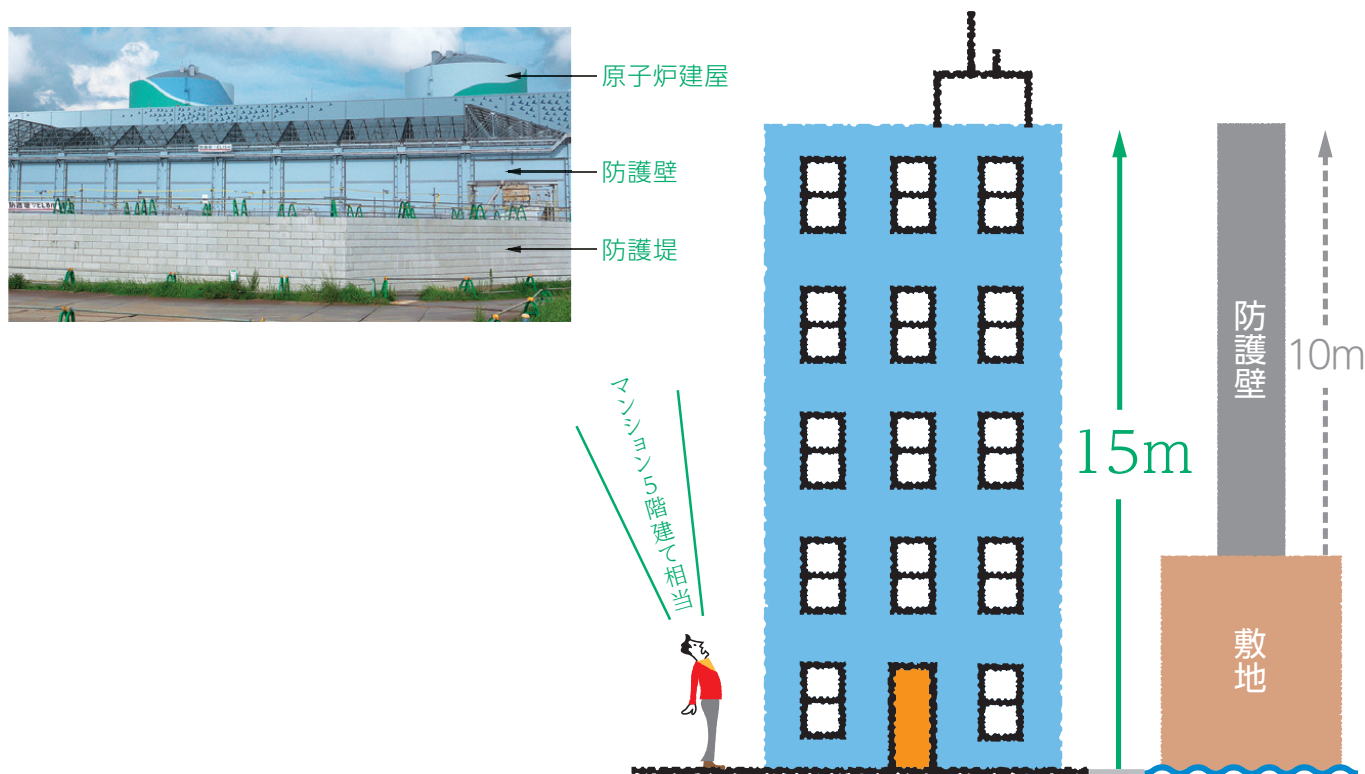
# 原子力発電所の安全確保に 万全を期します



川内原子力発電所は、想定する最大の津波(海拔6m<sup>\*</sup>)に対し  
**十分な敷地高さ(海拔13m)**があります。

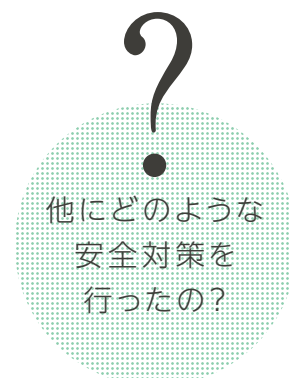
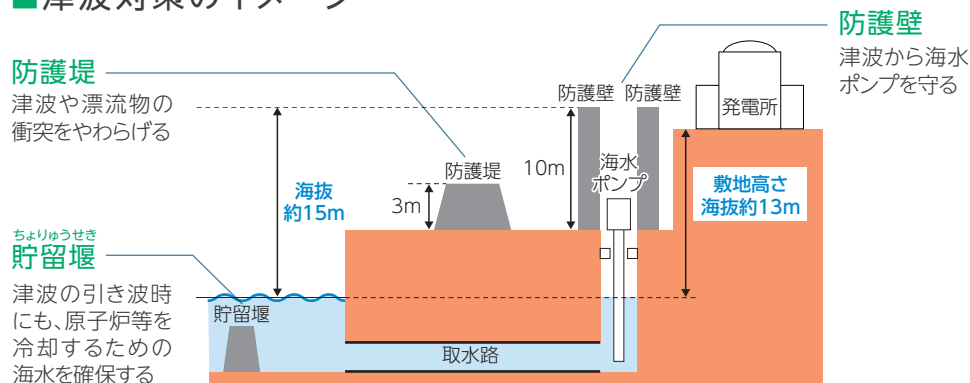
さらに、安全確保に万全を期すため、海水を取水するエリアに、

**海拔15mまで防護壁**を設置しました。



※地震による地盤沈下や満潮位の変動なども考慮

## ■津波対策のイメージ



詳しくは裏面へ

# 川内原子力発電所1・2号機、及び玄海原子力発電所3・4号機について、国が定めた新規規制基準への適合は当然のこととして、更なる安全性向上を目指した、さまざまな安全対策に取り組んでいます。

## 川内原子力発電所における主な対策

### 1 異常の発生を防ぎます。

竜巻や地震等の自然現象から設備を守る



復水タンクの竜巻防護ネット



地震対策(支持構造物補強)

### 2 異常の拡大を防ぎます。

外部電源の喪失に備える



大容量空冷式発電機

内部の水漏れから設備を守る



水密扉

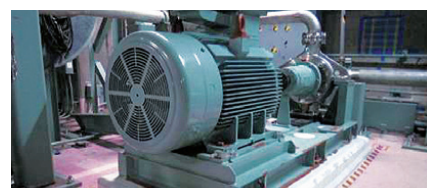
### 3 燃料の損傷を防ぎます。 原子炉の燃料を冷やすため、いくつもの冷却手段を追加



移動式大容量ポンプ車



可搬型注入ポンプ



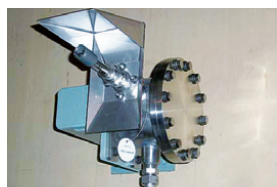
常設電動注入ポンプ

### 4 格納容器の破損を防ぎます。

水素爆発による格納容器の破損を防ぐため、格納容器内の水素濃度を低減



静的触媒式水素再結合装置



電気式水素燃焼装置

### 5 放射性物質の拡散を抑制します。

格納容器の破損箇所への放水



放水砲による放水訓練

海洋への放射性物質の拡散防止



シルトフェンス(海中カーテン)設置訓練

### 6 放射性物質から地域の皆さまを守ります。

万が一の際に、地域の皆さまの安全を確保するため、社内訓練をはじめ、国や自治体が主催する原子力防災訓練に参加し、原子力防災組織が有効に機能することの確認や防災対策の習熟を図っています。

また、事業者として、住民避難等に対して、可能な限りの支援を行っていきます。



国主催の原子力総合防災訓練



当社が川内地域に配備した福祉車両

#### その他の支援の取組み

- PAZ\*圏内の放射線防護対策施設への備蓄品(保存食、寝具等)の配備
- 原子力災害発生時の避難者に対する放射能汚染検査対応要員を確保するための社員教育の実施

\*原子力発電所から概ね5kmの範囲